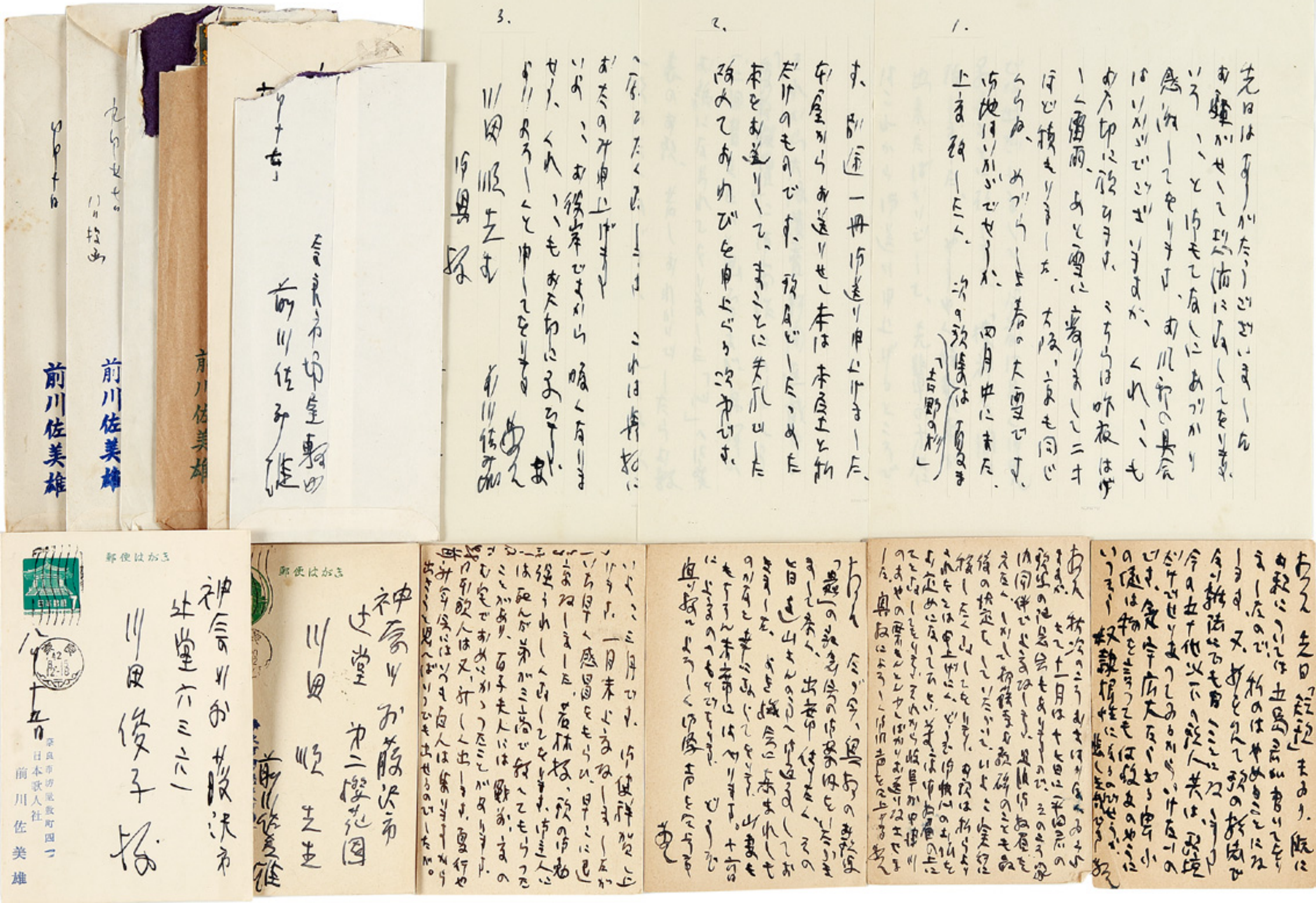

1.

先日はありがたうございました
お騒がせして恐縮に存じてをります、
いろいろと御もてなしにあづかり
感謝してをります。お風邪の具合
はいかがでございますか、くれぐれも
お大切に願ひます。こちらは昨夜はげ
しく雷雨、あと雪に変りまして二十
ほど積もりました。大阪、京も同じ
ならむ、めづらしき春の大雪です。
御地はいかがでせうか、四月中に来た
上京致したく、次の歌集は（「吉野の杉」）夏出ま

2.

す、別途一冊御送り申上げました、
本屋から御送りせし本は本屋と私
だけのものです、[illegible]しましためた
本をお送りして、まことに失礼いた
改めておわびを申上ぐる次第です。

3.

へ「冬のたくはへ」は　これは特に
おたのみ申上げます
いよいよ御彼岸ですから暖く有りま
せう、くれぐれもお大切に遊ばされます、妻
よりよろしくと申してをります
前川佐美雄
川田順先生
御奥様

おろへ　先日「紅旗」まゐり、既に
お私について五島君が書いてをり
ましたので、又私のはやめることにし
ます。又、めさを見て歌の新鮮で
今の新派でも皆ここに及ばず
今の五十代以下の歌人共は、環境
だけでせりあうしてゐるが、いけないの
です。気宇広大ならざる卑小
の儘は何を言つても彼女のやうには
いうまでもなく奴隷根性に[illegible]
おえ

あへん　秋次のころむきは如何なるや
ますが、さて十一月は十七日に[illegible]の
歌集の記念会もありますので、その次の
御同伴でおまちしてゐます。具体的御返事を
えたく、しかして[illegible]のことも知
御の決定ということにしていよいよ実現に
移したくしてをります。御宅は如何よう
そちらの事は申上げにくく、どうぞ[illegible]の土地を
お定めになってみてください。[illegible]
てとなしてをりますそれから岐阜か中津川
の方への[illegible]ばかりのお送りなさいま
した。奥様によろしく御伝声を申上げます　あえ

ちへ　冬が来ます、奥野さんの御
「鶏」の新年号の御厚情をしていただき
ましてありがたく、出来るだけ早く、その
旨を辻山さんのところへ[illegible]して、お
きました。おそらく御参会に来まれしても
のかなりと気にしてをります。山妻も
[illegible]には参ります。十二日
によりましての一つを申しあげます。どうぞ
奥様によろしく御伝声を願ふ
あき

いよいよ三月です。御健祥賀し上
げます。一月末より寝ねてしまひましたか
いち早く感冒をもらひ、早々に退
家ねしました。若林様、歌の御稿
うれしく拝見してをります。御達人に
は死んだ弟が三高で教へてもらった
ことがあり、百子夫人には[illegible]の
御宅でおめにかかったことがありますよ。
御門歌人は又、新しく出ますよ。夏行や
[illegible]には いつも白人は集りますから
おきさうと思へばいつでも出せるのでした。

郵便はがき

日本郵便 7

奈良 42 8.15 12-18

神奈川県藤沢市
辻堂六三六一
川田俊子様

八月十五日

奈良市坊屋敷町四ノ一
日本歌人社
前川佐美雄

郵便はがき

神奈川県藤沢市
辻堂第二櫻花園
川田順先生

前川佐美雄

四月十日
前川佐美雄

九月廿七日
川田様
前川佐美雄

前川佐美雄

四月十五日
奈良市帝塚東町
前川佐美雄